

東京都における認知症サポート医のフォローアップ研修の実施状況

これまでの経緯	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～令和元年度
	東京都認知症サポート医フォローアップ研修等検討委員会(認知症地域医療推進事業)	【都独自】 認知症サポート医フォローアップ研修(東京都医師会に委託)		認知症サポート医フォローアップ研修 ※平成23年度は東京都医師会主催 ※平成24～26年度は、東京都医師会と東京都が共催				
	※国の動き:平成17年度～平成22年度 認知症サポート医養成研修の開始 認知症サポート医フォローアップ研修の創設					医療従事者等の認知症対応力向上に向けた関係者会議(医療従事者等の認知症対応力向上支援事業)		

認知症サポート医フォローアップ研修(平成21～22年度)

<実施根拠>

東京都認知症地域医療推進事業実施要綱

【目的】

かかりつけ医への助言や地域との関係機関との連携促進の役割が期待される認知症サポート医の機能強化を図ることで、認知症医療と身体医療、専門医療と地域医療の切れ目を解消し、認知症の人に対する地域の医療支援体制の充実を図る。

【研修対象者】

都内の認知症サポート医

【実施方法】

都独自の認知症サポート医のアウトカム(活動の方向性、達成目標)・カリキュラム・テキストに基づき実施(資料8-2 参照)

※東京都認知症サポート医フォローアップ研修等検討委員会(平成20年度)において、アウトカムの提案、カリキュラム・テキストの作成

【研修内容】

◆テキスト研修

- ・ 認知症に対する薬物療法、非薬物療法
- ・ 認知症の周辺症状への影響を踏まえた身体疾患の管理 等

◆グループワーク(医療資源の状況等、地域特性を踏まえた連携モデルを検討)

◆ディスカッション(テキスト及び研修内容について)

※研修終了後は、アウトカム項目の習得度合いを自己評価表に記入し提出

※1回あたりの定員:20名程度

【実績】

開催回数:計9回(原則、二次保健医療圏単位)

延べ修了者数:160人

認知症サポート医等フォローアップ研修(平成27年度～)

<実施根拠>

- ・ 認知症地域医療支援事業実施要綱(国)
- ・ 認知症支援推進センター運営事業実施要綱

【目的】

都内の認知症サポート医等のスキルアップ及び活動の促進を図る。

【研修対象者】

- ・ 国の定める認知症サポート医養成研修修了者
- ・ 地域拠点型・地域連携型認知症疾患医療センターの医師
- ・ その他地域において、認知症医療体制構築に向けて取り組んでいる医師

【実施方法】

認知症支援推進センターにおいて研修内容を検討(2年で1クール)

【研修内容】

講義形式(資料8-3 参照)

※1回あたりの定員:200～300名程度

【実施状況】

開催回数:計20回 ※令和元年度第4回(2月実施)含む。

延べ修了者数:3,306人(令和元年度第3回まで)

◆認知症サポート医のアウトカム(達成目標)◆

1. 地域の「かかりつけ医」と「専門医」の顔の見える連携づくりを支援する
2. 包括的認知症ケアの現況を踏まえて「かかりつけ医」を総合的に支援する
3. 地域の医療・介護・福祉職等への連携促進や認知症対応力の向上を支援する
4. 地域住民や多様な職種の従事者に対する認知症への理解を促進し地域ケアの向上を支援する

平成21年度・22年度東京都認知症サポート医フォローアップ研修 標準カリキュラム

教育方法	時間数	研修内容
テキスト研修	120分	・東京都認知症サポート医フォローアップ研修カリキュラム等検討委員会作成のテキストによる研修(スライド・資料集の解説)
グループワーク	120分	・テキスト研修を踏まえて、サポート医の新たな役割や取り組み課題の検討及び自治体・地域包括支援センター・医師会等関係団体への要望をまとめる。 ・東京都、東京都医師会、地域医師会、自治体等であらかじめ用意した“地域の基本情報”を題材に、当該地域の連携モデル案と具体化へのロードマップを検討する。 ・認知症者の生活支援・介護・医療情報の伝達フォーマットの“たたき台”を題材に検討する。 ・本研修のアウトカム項目の習得度合いを研修前後で自己評価表に記入し提出する。
ディスカッション	30分	・テキスト及び研修内容についてのグループインタビュー形式による意見聴取

東京の認知症サポート医活動の創造と展開をめざして OUTCOME(達成目標)の提案と研修内容

活動の方向性

- ☆「認知症サポート医」への期待を理解し、地域特性に応じた役割を創造して活動する
- ☆認知症の人が、地域で療養生活を継続するための様々な問題の解決を支援する
- ☆認知症について、地域住民や多様な職種が声をかけやすい医師として活動する

1. 地域の「かかりつけ医」と「専門医」の顔の見える連携づくりを支援する

- (1) 東京都の認知症の医療やケアの現状を理解する
 - ① 東京都における認知症対策の施策や活動状況を理解する
 - ② 東京都認知症専門医療機関の状況を理解する
 - ③ 東京における精神科救急医療体制の現状を理解する
 - ④ 地域の認知症の医療体制の把握を理解する
- (2) 地域の「専門医（医療機関）」の診断・治療・周辺症状・合併症への対応力を踏まえた情報提供やアクセスを支援する
- (3) 認知症の人の急変時の地域の対応体制を踏まえた情報提供やアクセスを支援する
 - ① 認知症の人の急変時の地域の対応体制についての情報を把握する
 - ② 地域の「精神科救急対応医療機関」についての情報を把握する
- (4) 地域に見合った「かかりつけ医」と「専門医」の連携を構築する

2. 包括的認知症ケアの現況を踏まえて「かかりつけ医」を総合的に支援する

- (1) 困難事例への対応も含めた「かかりつけ医」の認知症対応力の向上を支援する
 - ① 「認知症の人の日常生活を尊重するケア」の理念を理解し伝える
 - ② 認知症診療のコツを把握し伝える
 - ③ 認知症の非薬物療法の概要と効果を理解し伝える
 - ④ 認知症短期集中リハビリテーションの概要を理解し伝える
 - ⑤ 認知症の中核症状とBPSDへの薬物療法の適用を理解し専門医との連携を支援する
 - ⑥ 諸外国のBPSDの薬物療法のガイドラインの存在と概要を理解し専門医との連携を支援する
 - ⑦ 「かかりつけ医認知症対応力向上研修」の開催に協力する
- (2) 権利擁護や虐待への対応について「かかりつけ医」の相談を受け支援する
 - ① 地域の認知症の人の権利擁護体制を把握しマネジメントや情報提供をする
 - ② 自らも鑑定書等権利擁護手続きの依頼に対応し「かかりつけ医」も支援する
- (3) 病名告知とその後の対応について下記の観点に留意し「かかりつけ医」の相談を受け支援する
 - ① 認知症の人とその家族の心情に配慮した支援をする
 - ② 予後の見通しを適正に説明し、疾患の受容を支援する
 - ③ 治療法や地域の医療体制等を説明する
 - ④ 告知後の生活を支援する
 - ⑤ 家族・介護者を支援する

3. 地域の医療・介護・福祉職等への連携促進や認知症対応力の向上を支援する

- (1) 地域の認知症早期スクリーニング、早期対応の取り組みを支援する
例：地域自治体、地域包括支援センター、医師会が行う「物忘れ相談」等へ協力する
- (2) 地域の医療・介護・福祉職等への認知症対応力向上のための啓発活動を牽引する
例：事例検討会、連携協議会等へ協力する
- (3) 地域自治体、地域包括支援センター、地域医師会・介護事業者等の連携促進に協力する

4. 地域住民や多様な職種の従事者に対する認知症への理解を促進し地域ケアの向上を支援する

- (1) 地域住民の啓発、認知症サポーターの養成等の住民主体の活動に協力する
- (2) 認知症の人のライフラインを支える事業者を啓発し支援する
(住居・商工・金融・流通・交通・飲食・通信・エネルギー・水道等々の事業者)

認知症サポート医等フォローアップ研修 実施状況(平成27年度～令和元年度)

※カリキュラムは、質疑応答を除く。

	平成27年度				平成28年度											
	第1回		第2回		第3回		第4回		第5回		第6回		第7回		第8回	
カリキュラム	認知症とは一体何か -概念の歴史と現代における課題-	60分	認知症と精神医学 -症候学を中心に-	60分	認知症と生活習慣病	60分	認知症の人の口腔ケアと栄養管理	60分	認知症サポート医に求められる役割とこれからの認知症施策	60分	レビー小体型認知症の診断と治療	60分	前頭側頭型認知症(行動障害型)の診断と治療	60分	せん妄の診断と治療	60分
	認知症と神経病理学 -神経病理学から見た認知症の概念と病態-	60分	認知症と神経内科学 -診断学を中心に-	60分	認知症と循環器疾患	60分	認知症の人の在宅医療	60分	アルツハイマー型認知症の診断と治療	60分	正常圧水頭症の診断と治療	60分	前頭側頭型認知症(言語障害型)／原発性進行性失語症の診断と治療	60分	BPSDを認める認知症高齢者の支援	60分
	—	—	認知症の神経画像医学 -画像検査の意味と判読方法を中心に-	60分	認知症のリハビリテーション	60分	認知症の人の権利を守る	60分	血管性認知症の診断と治療	60分	高齢者のうつ病の診断と治療	60分	進行性核上性麻痺と大脳皮質基底核変性症	60分	若年性認知症の人の社会的支援	60分
受講者数	153人		166人		149人		212人		220人		195人		172人		159人	

	平成29年度				平成30年度											
	第1回		第2回		第3回		第4回		第1回		第2回		第3回		第4回	
カリキュラム	都における平成29年度の認知症施策について	30分	私の認知症診療 薬物療法やリハビリの効果を高めるために	75分	認知症初期集中支援チームにおける認知症サポート医の役割	75分	認知症の医療と身体疾患の管理	75分	軽度認知障害(MCI)とうつ病の臨床	80分	大都市における認知症初期集中支援チームの実例	80分	認知症の神経心理学	80分	認知症診療に必要な神経学的所見のとり方	80分
	認知症医療の専門家に望むこと	60分														
	認知症とアルコール関連障害	60分	認知症診療と高齢者の総合機能評価	75分	認知症サポート医の役割 -現場の視点から-	60分	認知症サポート医と地域包括ケアシステム -東日本大震災被災地での実践を通して-	75分	認知症の臨床と緩和ケアの接点	80分	これからの認知症サポート医に求められること	80分	認知症の神経画像医学	80分	高齢者のてんかんと認知症	80分
受講者数	197人		165人		158人		132人		186人		167人		177人		187人	

	令和元年度							
	第1回		第2回		第3回		第4回	
カリキュラム	東京都における認知症サポート医の役割について	20分	糖尿病と認知症	80分	認知症疾患の鑑別診断 -変性性認知症を中心に-	80分	連携型認知症疾患医療センターの日常診療と地域連携	80分
	東京都の認知症施策について	60分						
	これからの認知症医療について	80分	認知症高齢者に対する歯科治療ガイドラインの活用 -認知症診療のなかでの医科歯科連携-	80分	これからの成年後見制度と意思決定支援	80分	若年性認知症の診断と診断後支援	80分
受講者数	169人		156人		186人		(未実施)	

<主な講師>

- お多福もの忘れクリニック 管理医師 本間 昭 (茨城県水戸市)
- 防衛医科大学校病院精神科 診療部長
防衛医科大学校医学教育部医学科 教授 吉野 相英 (埼玉県所沢市)
- 藤本クリニック 院長 藤本 直規 (滋賀県守山市)
- アンカー法律事務所 弁護士 吉岡 譲治 等